

1 単元名 世界の諸地域 ～アフリカ州～

2 単元の目標

- モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高める。  
【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を自分の言葉で説明することができる。  
【社会的な思考・判断・表現】
- 資料から、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを読み取ることができる。  
【資料活用の技能】
- アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解し、その知識を身につけている。  
【社会的事象についての知識・理解】

3 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
・モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高めることができる。	・一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を自分の言葉で説明することができる。	・資料から、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを読み取ることができる。	・アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解し、その知識を身につけることができる。

4 指導と評価の計画(全5時間)

次	時	主な学習活動	評価の観点				評価規準及び評価方法
			関	思	技	知	
一	1	<p>【アフリカ州の自然環境】 「なぜ、アフリカ州では、多様な地形や気候が見られるのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の気候が赤道をはさんで南北に広がっていることを資料から読み取ることができる。</li> <li>・アフリカ州の農産物や輸出品について、地域的特色を追究する単元を貫く問いを設定する。</li> </ul>	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物や輸出品からわかるアフリカ州の特色について関心をもつことができる。 【社会的事象への関心・意欲・態度】 [ワークシート・発表]</li> <li>・南北に長く面積の広いアフリカ州では、赤道からの距離によって多様な気候が見られることを理解できる。 【社会的事象についての知識・理解】 [ワークシート]</li> </ul>

2	<p>【アフリカの文化と歴史】 「なぜ、アフリカ州では、ヨーロッパの言語を使用する国が多いのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料をもとに、アフリカ州では多くの国がヨーロッパの言語を使用していることを読み取る。</li> <li>ヨーロッパとのつながりと植民地支配の歴史について、多面的・多角的に考察し、説明することができる。</li> </ul>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ州とのつながりとアフリカ州の文化や人々の生活との関連を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。</li> <li>【社会的な思考・判断・表現】 [ワークシート・発表]</li> <li>さまざまな資料を活用し、ヨーロッパとのつながりが現在も残っていることを読み取ることができる。</li> <li>【資料活用の技能】 [ワークシート・発表]</li> </ul>
3	<p>【アフリカの産業と経済を支える輸出品】 「なぜ、第一次産品にたよった生活には問題があるのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ州で一次産品にたよった生活が行われている理由について追究する。</li> <li>第一次産品にたよった生活における問題点について資料から読み取る。</li> </ul>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ州でモノカルチャー経済が多く見られる理由やその問題点について整理し、適切に表現することができたか。</li> <li>【社会的な思考・判断・表現】 [ワークシート]</li> <li>資料から、モノカルチャー経済の問題点について読み取ることができたか。</li> <li>【資料活用の技能】 [観察・ワークシート・発表]</li> </ul>
4	<p>【自立をめざすアフリカの国々】 「なぜ、アフリカ州では、産業に変化が見られるようになったのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立をめざすアフリカ州の実態や、他国からの支援について追究する。</li> <li>さまざまな資料をもとに、アフリカ州がかかえている問題について読み取る。</li> </ul>	○		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立をめざすアフリカ州の実態や他国からの支援のあり方について関心をもち、意欲的に追究している。</li> <li>【社会的な事象への関心・意欲・態度】 [ワークシート・発表]</li> <li>自立に向けたアフリカの自国の取り組みや他国からの支援の実態を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>【社会的な事象についての知識・理解】 [ワークシート・発表]</li> </ul>
5	<p>【アフリカ州のまとめ】 「第一次産品にたよった生活にはどのような問題があり、そこから脱却するために人々はどのような努力をしているのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「モノカルチャー経済下での人々の生活」の視点から見たアフリカ州について、イメージマップにまとめる。</li> <li>単元を貫く問いの解をまとめる。</li> </ul>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ州の学習で学んだことを、「歴史」「産業」などの視点から、イメージマップにまとめることができる。</li> <li>【資料活用の技能】 [ワークシート]</li> <li>アフリカ州では、植民地支配の歴史によるモノカルチャー経済の問題とその解消に向けた取り組みがあることを理解している。</li> <li>【社会的な事象についての知識・理解】 [ワークシート・発表]</li> </ul>

## 5 指導上の立場

### ○単元観

本単元では、モノカルチャー経済下での人々の生活の視点で、アフリカ州についての学習を行う。世界の諸地域の学習について「中学校学習指導要領解説」では、次のように述べられている。

#### ウ 世界の諸地域

世界の諸地域について、以下の（ア）から（カ）の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。

#### （内容の取扱い）

ウ ウについては、州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。

その中で、植民地時代から宗主国に輸出するためのカカオなどの第一次産品の生産が盛んに行われてきた。植民地支配から解放された現在でもその状況は変わらず、第一次産品を生産し、輸出することが国の経済を支えている。しかし、天候や収穫の状況によって価格が変動しやすい第一次産品を主要生産品としている場合、国の経済は安定せず、経済基盤が非常に脆弱なものとなっている。

そこで、アフリカ州を「モノカルチャー経済下での人々の生活」の視点から、植民地支配の歴史の関連、第一次産品の生産・輸出にたよる生活の欠点やアフリカ州で暮らす人々の生活のこれからについて学習する。

### ○生徒観

本学級は、男子15名、女子16名の計31名で構成されている。

社会科の授業においては、ほとんどの生徒が意欲的に学習し、積極的に発言や発表を行うことができる。一方で、いくらかの生徒は、授業中の発言が少なく受動的である。また、根拠をもって説明したり、資料と関連付けて説明したりすることが必要な発問に対しては苦手意識をもっている生徒が多い。

### ○指導観

本学級の生徒の実態を受けて授業の中に協働学習を取り入れている。そのことにより、他人の意見を参考にしたり、答えを導き出す過程を話し合ったりする中で、自分の考えに根拠をもって説明することが難しい生徒にとっても思考の一助となると考えられる。

### ○研究主題との関連

研究主題は『主体的に学び合い、高め合う生徒の育成を目指して～アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業実践～』である。まず、生徒が主体的に学ぶためには見通しをもって学習に取り組めることが重要である。そのため、板書から本時の学びの道筋が見えるように工夫したい。また、「なぜ疑問」に対して仮説を立て、検証していく過程を協働学習班で行うことによって、「主体的な学び」や「深い学び」、「対話的な学び」が生まれることにつながっていくと考えた。ただし、グループで学習を行うというだけでは、アクティブ・ラーニングとはいえないと思うので、グループの中で対話や議論が生まれるように促したり、資料提示の工夫をしたりすることによって、思考がアクティブになるようにしていきたい。

6 本時案（第一次 第3時）

(1) 本時の目標

- 資料から、モノカルチャー経済の問題点について読み取ることができる。 【資料活用の技能】
- アフリカ州でモノカルチャー経済が多く見られる理由やその問題点について整理し、適切に表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 本時の学習課題を把握する。	○第1時で使用した資料を提示し、もう一度アフリカ州の特徴を確認し、本時のめあてを設定する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>めあて</p> <p>なぜ、第一次産品にたよった生活には問題があるのだろうか。</p> </div>		
2 本時のめあてに対する予想を立てる。	○予想を立てやすいように、机間指導をしながらグループ内の対話を促す。 ○めあてに対しての予想を発表するように促す。	
3 アフリカ州で第一次産品にたよった生活が行われているのかを調べる。	○グループ内で話し合いがしやすいように、資料の読み取り方のポイントを伝える。 ○話し合いが進まないグループに助言を行う。	
4 資料をもとに、予想を検証する。	○さらなる資料を提示し、問題点が整理しやすいようにする。 ○グループ内で話し合ったことを整理してまとめるように促す。	○資料から、モノカルチャー経済の問題点について読み取ることができたか。 <span style="float: right;">【資料活用の技能】</span> [観察・ワークシート・発表]
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>まとめ</p> <p>アフリカ州では、植民地時代の影響から現在でもモノカルチャー経済の国が多くなっている。第一次産品は天候の影響を大きく受けて国際価格が大きく変動するなど、収入が安定しないことが問題となっている。</p> </div>		
5 本時のまとめと振り返りを行う。	○本時のめあてに対する答えを自分の言葉で書くように指示する。その際、板書を見ながら確認ができるように板書のまとめ方に工夫をしておく。  ○本時の学習を通して分かったことや疑問に思ったこと、自分の考えなどについて、自分の言葉でまとめるように指示する。	○アフリカ州でモノカルチャー経済が多く見られる理由やその問題点について整理し、適切に表現することができたか。 <span style="float: right;">【社会的な思考・判断・表現】</span> [ワークシート]

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿

- ・（まとめの記述の例） 第一次産品は天候の影響を受けて価格が大きく変動する場合があります、収入が安定しないことが問題となっている。